

【寒河江 浩二 委員からの意見】

平成21年度「教育に関する事務の管理及び執行状況」の点検及び
評価報告書(案)についての意見

資料4の ページ	事務事業名	意 見
13	少人数学級編制等のよさを活かした指導方法の改善	「全国学力・学習状況調査における各科目の正答率が全国平均と比較してプラス3ポイント」の目標に対して、プラス3ポイントを達成できなかった科目が、全8科目中7科目あったが、教育山形「さんさん」プランの、より効果的な実施が求められているのではないかと。秋田県の実況を視察して、良いところは採用しても良いのではないかと。
15	戦略的なものづくり人材の育成	技能検定2級合格者数は目標が20人で、実際は11人の合格。本県の特徴として、優れたものづくり技術による産業振興があるが、今後の展望を明るくものにするためにも、この分野に一層力を注いでいくべき。
19	キャリア教育の推進	概ね達成だが、インターンシップの受入先が減少しているというのは非常に気になる。景気の悪化もあるのだろうが、企業関係者の理解と協力を得る努力が必要なのではないかと。
31	教職員評価を通じた資質向上	教員懲戒処分件数が23件では、資質向上以前の問題というべきだろう。
	(その他として)	小生はマスコミにいる人間として、教育に新聞を、つまりNIE活動のさらなる発展を主張してきたつもりだが、新学習指導要領でようやく明文化されている。本県教育の現場でも真剣にNIEの活用を検討していただきたい。

【寒河江 浩二 委員からの意見】

「5教振」見直し計画の骨子(案)についての意見

〔第3章 第2 計画期間後期に重点的に取組むべき施策〕

2 人間形成の基礎を育む「幼児期の教育」の充実 に関して

- ・庄内藩の藩校「致道館」における幼児期の指導では、「学校は遊び所」として、学習意欲や興味を高めるための環境や方法を工夫することが重要としている。
- ・「遊び」から、様々なものへの興味関心を高めていくことが大切である。
- ・人にはそれぞれ得手、不得手があり、それを活かした教育が大切である。

3 これからの社会を主体的に生きぬく力の育成 に関して

- ・「読書県山形」の創造については、活字に触れ、読む習慣を付けることが重要であり、そういう意味では、毎日、新聞を読むこと、授業等で新聞を活用した授業を展開していくことが必要なのではないか。
- ・これからの社会を主体的に生きぬくためには、競い合う中で負けない強さ、たくましさとともに、自らを高めていく「向上心」を重視していくべきではないか。
- ・ICTが進展する社会を生きぬく力について、溢れる情報の中から有益な情報を見つけ出し、活用していくという情報活用能力をつけるためには、新聞を教材として活用し、多角的な視点から判断し、考えるという学習が最適である。

4 子どもとじっくり向き合える教育の推進 に関して

- ・教育山形「さんさん」プランについては、全国から山形は評価されているが、学力の向上を一層意識したものにしていく必要がある。秋田県での取組み等について取り入れるなど考えてみてはどうか。